

【 健康支援と社会保障制度 】

授業科目	保健医療論		対象学年・時期	1年次・後期
			単位数	1
			時間数	15
講師名	医師		担当時間数	14
			テスト時間	1(45分)
学習目標	1. 医療の変遷を学び、医の倫理に基づいた医療の役割を理解する			
回数	主題	学習内容及び方法		講義形態及び教室
1回	1. 医学・医療のあゆみ	1) 人類の誕生と医療の原始的形態 2) 古代・中世の医学		講義
2回	2. 健康と疾病	1) 生活の場と健康 2) 労働と健康		講義
3回 4回	3. 医と倫理	1) 生命倫理とは 2) 患者の権利 3) 脳死と臓器移植 4) 生殖医療 5) 遺伝学の発展と倫理的問題 6) 告知と終末期医療 7) 安楽死と尊厳死 8) クローン再生		講義
5回	4. 保健医療のあり方	1) 近代医学の発展 2) 21世紀の医療サービス 3) 患者からみた保健医療の質		講義
6回	5. 我が国の医療供給体制	1) 方向性と課題		講義
	6. 政策医療	1) 国立病院機構の歴史 2) 国立病院機構の機能と役割		
7回	7. 保健医療チームの連携	1) 医療・保健・福祉領域における多職種連携		講義
	8. 災害時の医療体制	1) 災害医療の特徴 2) 災害と情報		
8回	終講試験			
評価方法	筆記試験			
テキスト	新体系看護学全書 健康支援と社会保障① 現代医療論(メヂカルフレンド社)			

【保健医療論】

自己学習時間	30時間	事前・事後学習	テキストで事前学習、事後学習を行うこと
--------	------	---------	---------------------

授業科目	公衆衛生		対象学年・時期	2年次・前期	
			単位数	2	
			時間数	30	
講師名	非常勤講師		担当時間数	29	
			テスト時間	1(45分)	
学習目標	1. 国民の健康に関する状況と生活環境を学び、人々が健康を教授するために望ましい制度や組織活動を理解するとともに医療専門職の役割を理解する				
回数	主題	学習内容及び方法		講義形態及び教室	
1回	1. 健康と公衆衛生	1)公衆衛生のあゆみ		*アクティブラーニング 講義・演習	
2回	2. 疫学と健康に関する指標	1)保健統計の基本的な考え方 2)人口の動向 3)人口の動向把握と必要な指標			
3回 4回	3. 環境と公衆衛生	1)人間と生活環境 2)健康問題と環境			
5回	4. 公衆衛生の対象と活動	1)保健所・保健センターにおける活動			
6回		2)母子健康 ・母子保健活動 ・子育て支援			
7回 8回		3)地域保健 ・地域保健活動 ・地域保健法 ・健康教育			
9回		4)学童期の健康管理 ・学校保健			
10回		5)生活習慣病予防 ・健康日本21			
11回		6)感染症とその予防 ・感染症法			
12回		7)職場の健康保険 ・労働安全衛生、労働災害や公務災害			
13回		5. 疾病の予防と疫学調査法	1)疫学的方法に基づく公衆衛生 ・臨床疫学とエビデンス		
14回	6. 難病対策	1)難病法			
	7. 保健行政	1)保健行政の体系			
15回	まとめ/終講試験				
評価方法	筆記試験				
テキスト	系統看護学講座 専門基礎 公衆衛生 健康支援と社会保障制度②(医学書院) わかりやすい公衆衛生学 (ヌーベルヒロカワ)				

参考文献	国民衛生の動向(厚生統計協会)
------	-----------------

【公衆衛生】

自己学習時間	15 時間	事前・事後学習	テキスト、国民衛生の動向で学習する
--------	-------	---------	-------------------

授業科目	社会福祉		対象学年・時期	3 年次・前期
			単位数	2
			時間数	30
講師名	非常勤講師		担当時間数	29
			テスト時間	1(45 分)
学習目標	1. 社会福祉と医療・社会保険の関連について理解し、対象に必要な社会資源として看護に活用する必要性を理解する			
回数	主題	学習内容及び方法		講義形態
1回 2回	1. 社会福祉・社会保険の定義と理念	1) 日本の保健医療福祉活動の基本方向 (1) 社会保障制度と社会福祉の概要 (2) ノーマライゼーション、人権擁護		講義
3回 4回 5回	2. 社会福祉諸法の関連法と施策	1) 社会保険の変遷 2) 医療保険制度 (1) 医療保険制度の概要 3) 介護保険制度 (1) 介護保険制度の概要、保険給付とサービスの種類 4) 年金制度 5) その他社会保険制度 (1) 労働保険制度		講義
6回 7回	3. 社会福祉行政	1) 保健福祉計画 2) 社会福祉の民間活動 3) 老人保健福祉行政 4) 職員、機関、施設		講義
8回 9回	4. 社会保険及び公的給付の沿革と概要	1) 公的扶助 2) 所得保障		講義
10回 11回 12回	5. 社会福祉・社会保険の現状と将来	1) 福祉と看護の関係 2) 地域福祉・公的介助論 3) 母子・児童福祉、障害者福祉		講義
13回 14回	6. 保健福祉医療の連携とマネジメント	1) 保健・福祉・医療機関における連携と実際 2) 地域包括ケアシステムにおける他機関との連携と実際 3) 多職種協働とマネジメント		講義
15回	まとめ/終講試験			
評価方法	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 専門基礎 社会保障・社会福祉 健康支援と社会保障制度③(医学書院)			
参考文献	特に指定しないが、社会福祉制度の課題に関する書籍に目を通すことが望ましい。			

【社会福祉】

自己学習時間	15 時間	事前・事後学習	社会福祉の書籍を読む テキストで事前学習、事後学習をする
--------	-------	---------	---------------------------------

校

授業科目	関係法規		対象学年・時期	3年次・前期
			単位数	1
			時間数	15
講師名	事務部門職員 看護師		担当時間数	14
			テスト時間	1(45分)
学習目標	1. 医療の概念を理解し、社会生活と法のつながりを理解する 2. 医療に関する法律を学び、看護師に必要な法規を理解する			
回数	主題	学習内容及び方法		講義形態及び教室
1回	1. 法規の概念	1) 法の基礎的知識と法制度の仕組み 2) 生活者の健康に関わる法規の分類		講義
2回	2. 医事法規	1) 医療法 2) 放射線技師等に関する法律 3) 医師法		講義
3回	3. 看護法	1) 保健師助産師看護師法 2) 看護師等の人材確保の促進に関する法律		講義
4回	4. 労働法と社会基盤整備	1) 労働基準法 2) 労働安全衛生法 3) その他の労働関係法規 ・看護職と就業規制		講義
5回	5. 療関係者にかかわる法規 薬務法	1) 薬務法 2) 薬剤師法 3) 医薬品・医療機器その他国民の衛生上必要な規制 (1) 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保に関する法律 (2) 再生医療・血液製剤・薬剤被害の救済に関する法律等 (3) 麻薬・毒薬等		講義
6回	6. 社会保険法 福祉法	1) 社会保険法 (1) 医療保険、介護保険、所得保障		講義
7回		1) 福祉法 (1) 福祉の基盤 (2) 児童・高齢・障害分野		講義
8回	終講試験			
評価方法	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 専門基礎 看護関係法令 健康支援と社会保障制度④(医学書院)			
参考文献	国民衛生の動向(厚生統計協会)			
自己学習時間	30時間	事前・事後学習	テキストで事前・事後学習を行うこと	